

モニタリング結果報告書 (平成28年度)

1. 施設概要

施設名	辻堂海浜公園・湘南汐見台公園		
所在地	藤沢市辻堂西海岸・茅ヶ崎市汐見台		
サイトURL	http://www.kanagawa-park.or.jp/tujidou/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例(昭和32年神奈川県条例第7号)		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進 (辻堂海浜公園：昭和46年4月、湘南汐見台公園：昭和47年4月)		
指定管理者名	公益財団法人 神奈川県公園協会・株式会社オーチュールグループ		
指定期間	H27.4.1～H32.3.31	施設所管課	都市公園課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p><評価の理由> 利用状況がA、利用者の満足度及び収支状況がSとなったことからS評価となった。</p> <p><今後の課題・対応等> 今後も安全管理や公園管理者との調整に留意しながら、スタッフ一人ひとりの資質の向上に努めるとともに魅力ある利用プログラムの提供に取り組み、利用促進に努めてもらいたい。</p> <p><各項目の詳細説明></p> <p>◆管理運営等の状況 提案に基づいて、「かいひんSUN-DAY事業」や健康・体力・交流をテーマにしたアウトドアスポーツ体験プログラムや健康づくりプログラム等を開催するなど地域と連携した公園づくりに積極的に取り組んだ。市の津波対策避難行動訓練に併せて訓練を行うとともに防災食料等の備蓄、地震津波避難誘導マニュアルの改訂を行った。施設の傷みを早期発見早期修繕に努めるとともに、刺股を使った防犯訓練等を実施、利用者の安全確保を図った。公園運営協議会を運営し地域の声を聴くとともに公園モニター等を活用した業務改善や近隣住民の住環境への影響緩和等にも取り組んだ。</p> <p>◆利用状況 上半期については大規模イベント時に天候に恵まれたこと、多彩なイベントを多様な団体と連携して開催したことから、前年度や目標をいずれも上回った。下半期は県のサイクルセンター塗装工事によりスカイサイクルが休止し、交通公園等の利用者が減少したものの、新規イベントや閑散期対策により利用者は増加し、最終的に利用者数は目標比で約5%のプラスとなり、A評価となった。</p> <p>◆利用者の満足度 上位2段階の回答割合が約95%であったためS評価となった。</p> <p>◆収支状況 サイクルセンターの塗装工事(県発注)によりスカイサイクルの収入は減少したが、様々な利用促進等により駐車場収入が好調だったため、S評価となった。</p> <p>◆苦情・要望等 公園利用を巡る苦情が多かった。事業内容等に伴う苦情については適切な対応を行った。</p> <p>◆事故・不祥事等 剪定作業中の職員が誤って落下し骨折する事故が発生したため、危険予知訓練活動・作業手順確認等を徹底した。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。</p> <p>◆その他 なお、平成28年度の3項目評価についてはS評価とした。</p>	
3項目評価	S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要 ※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう
S	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	月3～4回程度	
随時モニタリングにおける指導・改善勧告等の有無	有・ 無	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
(辻堂海浜公園) ■ 「人々が集い、楽しむ、ハートフルパーク」 ○健康づくりのエバーサルな公園づくり ○交流と活動の拠点として地域と一体となった管理運営 ○ゆっくりとくつろげる魅力的な公園空間の創出 ○防災と安全に配慮した利用環境の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・地域等と連携し、健康・体力・交流をテーマにアウトドアスポーツ体験プログラムや健康づくりプログラム等を開催するとともに、スポーツ教室などアクティブな公園利用を促進した。 ・地域等と連携し、「かいひんSUN-DAY事業」を継続するとともに、新規イベントを開催した。 ・「かいひんFRIENDS事業」を週末を中心に展開するとともに花壇の充実等による魅力ある空間の創出、イベントに併せて外来種除去を行った。 ・防災用品等の準備、市と連携した津波非難訓練、地震津波避難誘導マニュアルの改訂等を行うとともに施設の傷みの早期発見早期修繕に努めた。 	
(辻堂海浜公園・湘南汐見台公園) ■ 利用者や地域住民、環境等に配慮した管理運営 ○平等な利用の確保 ○利用者や地域住民等の意見を反映した公園づくりの推進 ○環境に配慮した管理運営	<ul style="list-style-type: none"> ・公園運営協議会を運営し地域の声を聴くとともに公園モニター等を活用した業務改善や近隣住民の住環境への影響緩和に取り組んだ。(辻堂) ・公園協会の「環境マネジメントシステム」により資源循環型の維持管理等を推進するとともにゴミの分別・減量への協力の呼びかけ、海浜植物に配慮した管理運営を行った。(辻堂・汐見台) ・絶滅危惧種の生育環境改善を行った。(辻堂) 	
(辻堂海浜公園・湘南汐見台公園) ■ 県の「未病を治すかながわ宣言」に賛同した取組	<ul style="list-style-type: none"> ・つじどう寝たきりゼロ体操を新たに開始し、健康増進プログラムをより充実させた。 	
(湘南汐見台公園) ■ 快適な公園、地域に根差した公園 ○安心して、安全に遊べる広場づくり ○安全に、快適に運動できる環境づくり ○憩いと彩り、親しみのある公園づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具の安全点検と修繕を確実に行うとともに死角を作らないよう配慮した環境づくりに努めた。 ・少年野球場、運動広場の適切な管理を行うとともに用具倉庫の更新を行った。 ・学校と連携し、「みんなの花壇」を管理するとともに花いっぱい公園づくりを継続した。 	

[参考：自主事業]

事業計画の提案内容	実施状況等
軽飲食・売店の運営 交通公園・プール(オープンテラス, 仮設売店)の設置	交通公園に臨時売店、プール棟軽飲食店にオープンテラス、プール場内に仮設売店を設置し、運営を行った。
温水シャワー・コインロッカーの運営 プール棟内、屋外温水シャワー、事務所コインロッカーの運営	プール棟内の温水シャワーとコインロッカー、屋外温水シャワー、事務所ロビーのコインロッカーの運営を行った。

5. 利用状況

評価	≪評価の目安≫ 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代わりに定員数等を記載してください。
A	

(公園全体)

	前々年度	前年度	平成28年度
利用者数※	1,671,211	1,812,004	1,910,318
対前年度比		108.4%	105.4%
目標値	1,715,000	1,797,454	1,815,245
目標達成率	97.4%	100.8%	105.2%

(辻堂海浜公園)

	前々年度	前年度	平成28年度
利用者数※	1,559,277	1,710,369	1,810,899
対前年度比		109.7%	105.9%
目標値	1,638,000	1,697,462	1,714,265
目標達成率	95.2%	100.8%	105.6%

(汐見台公園)

	前々年度	前年度	平成28年度
利用者数※	111,934	101,635	99,419
対前年度比		90.8%	97.8%
目標値	77,000	99,992	100,980
目標達成率	145.4%	101.6%	98.5%

目標値の設定根拠： 前年度、前々年度：過年度実績の95%
平成28年度：提案書記載目標値

利用者数の算出方法（対象）： (辻堂海浜公園) 駐車台数、施設利用者数、団体利用者数から推計
(湘南汐見台公園) 目視による計測及び施設利用者数から推計

[参考：最大利用可能人数／年]

						合計
定員						
年間利用可能日数						
最大人数※	0	0	0	0	0	0
稼働率	%	%	%	%	%	

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

6. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	県により休日3回、平日2回の計5回調査	指定管理者による適切な公園管理により、前年度と同様に利用者から高い満足度を得ている。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 公園の管理運営状況を見るときいかがでしたか？

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 221 / 221 = 100.0%

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	148	63	6	4	0	221	花園を常に手入れされていて、いつも美しくされている
回答率	67.0%	28.5%	2.7%	1.8%			
前年度の回答数	147	71	12	6	0	236	
前年度回答率	62.3%	30.1%	5.1%	2.5%			
回答率の対前年度比	107.5%	94.8%	53.4%	71.2%	0.0%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[参考：職員の対応状況]

質問内容 公園スタッフの対応はいかがでしたか？

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 149 / 149 = 100.0%

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
職員の対応状況の回答数	98	40	6	5	0	149	あいさつしてくれる
回答率	65.8%	26.8%	4.0%	3.4%			
前年度の回答数	64	18	144	4	1	231	
前年度回答率	27.7%	7.8%	62.3%	1.7%	0.4%		
回答率の対前年度比	237.4%	344.5%	6.5%	193.8%	0.0%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[参考：その他]

--

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画ど おりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)： 85%未満
S	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況				収入合計	支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の内訳			収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	0	95,787	229,703	駐車場229,703	325,490	325,490	0	100.00%
	決算	0	112,851	163,307	駐車場163,307	276,158	306,237	-30,079	90.18%
前年度	当初予算	0	110,350	208,915	駐車場199,490 自販機9,425	319,265	319,265	0	100.00%
	決算	0	126,844	210,914	駐車場196,533 自販機14,381	337,758	310,964	26,794	108.62%
28年度	当初予算	0	110,900	210,006	駐車場200,487 自販機14,519	320,906	320,906	0	100.00%
	決算	0	124,102	247,135	駐車場232,710 自販機14,425	371,237	316,085	55,152	117.45%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

28年度 / 17,046 前年度 / 17,000 前々年度 / 3,152

<備考>

[参考：県が支出した修繕工事費]

※県が支出する計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費

時期(年・月)	金額(千円)	工事箇所・内容(金額(千円))
H28.4～H29.3	8,209	トイレ便器改修(1,317),機械室クラック修繕(1,494),案内板修繕(1,430),遊具修繕(501),窓修繕(596)等 ※上記以外にプールの機械設備補修、サイクルセンター塗装、照明灯改修、放送設備改修等の工事を実施

(基本協定において県が負担することとしている修繕費等： 300千円以上)

[参考：資本的な収入及び支出等の状況]

	金額(千円)	内容(金額(千円))
収入		
支出		
積立		

8. 苦情・要望等

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	電話	1 件	・台風並の強風が吹き、飛び散った松葉を早く清掃してほしい、伐採できないのか	→松の剪定等を実施
		件		
職員対応		件	なし	
		件		
事業内容	電話	2 件	・公園まつり開催に伴う園外へのゴミ捨て ・交通展示館(有料施設)に出入りを繰り返していた障害者を連れた親子を注意したことに対する苦情	→来園者によるゴミ捨てか不明だがゴミを回収 →子供への謝罪カード送付と保護者への説明を実施
	来園	1 件		
その他	来園	2 件	・凧揚げの音がうるさい ・カラスをなんとかしてほしい ・スケボーが危ないのでなんとかしてほしい	→会による凧揚げについては時間帯を制限して実施 →鳥獣保護法等との兼ね合いもあるため、注意喚起を実施 →看板や放送等で注意喚起を実施
	電話	1 件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
4月11日	①コイの餌やりを巡る利用者同士のトラブル。注意した男性が餌やりをしていた男性の口にパンを押し込んだところ手を怪我した。 ② ③警察は傷害ではなく事故と判断。餌やりをしていた男性は以前から度々注意を受けていたにも関わらず、ルールを守らない人物で、指定管理者の対応が悪いと主管課に電話(4/12)。餌やりをしていた人物、県土木、指定管理者の3者で意見交換(4/20)。 ④クレーム有（本人に対する指定管理者の態度が気に入らない等） ⑤ ⑥
11月29日	①協会職員が剪定作業中、梯子から落下し腰を圧迫骨折した。 ② ③危険予知訓練活動・体調管理・作業手順確認・保護具装着の徹底等を実施。 ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。